2023年3月

2023年3月5日　四旬節第２主日　（紫）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主題 : 独り子を与える神の愛

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　創世記 12: 1～4a(旧15)

第2朗読　ローマ 4: 1～5&13～17（新278）

福 音 書　ヨハネ 3: 1～17(新167)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

讃美歌

133 み神はこの世に

242 み神のことばは

389 わがため主は

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 121　（詩篇121:1～8）

青式文121

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

　　わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは主から来る。

　　天地を造られた主のもとから来る。

主があなたを助けて、足をよろめかないようにし、

　　まどろむことなく見守ってくださる。

見よ、イスラエルを見守る方は、

　　まどろむことなく、眠ることもない。

主はあなたを見守る方、

　　あなたを覆う陰、あなたの右にいます方

昼、太陽はあなたを撃つことがなく、

　　夜、月もあなたを撃つことがない。

主がすべての災いを遠ざけて、

　　あなたを見守り、あなたの魂を見守ってくださる。

あなたの出で立つのも帰るのも、主が見守ってくださるように。

　　今も、そしてとこしえに。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

私たちの導きの主である神様。あなたは洗礼の水によって、あなたの子としての新たな誕生を私たちに約束してくださいます。御約束を信じる信仰を強め、聖霊によってあなたの命を高く世に掲げることができるようにしてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　創世記 12: 1～4a(旧15)

1 主はアブラムに言われた。

「あなたは生まれ故郷

父の家を離れて

わたしが示す地に行きなさい。

2わたしはあなたを大いなる国民にし

あなたを祝福し、あなたの名を高める

祝福の源となるように。

3あなたを祝福する人をわたしは祝福し

あなたを呪う者をわたしは呪う。

地上の氏族はすべて

あなたによって祝福に入る。」

4アブラムは、主の言葉に従って旅立った。ロトも共に行った。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　ローマ 4: 1～5&13～17（新278）

1では、肉によるわたしたちの先祖アブラハムは何を得たと言うべきでしょうか。 2もし、彼が行いによって義とされたのであれば、誇ってもよいが、神の前ではそれはできません。 3聖書には何と書いてありますか。「アブラハムは神を信じた。それが、彼の義と認められた」とあります。 4ところで、働く者に対する報酬は恵みではなく、当然支払われるべきものと見なされています。 5しかし、不信心な者を義とされる方を信じる人は、働きがなくても、その信仰が義と認められます。

13神はアブラハムやその子孫に世界を受け継がせることを約束されたが、その約束は、律法に基づいてではなく、信仰による義に基づいてなされたのです。 14律法に頼る者が世界を受け継ぐのであれば、信仰はもはや無意味であり、約束は廃止されたことになります。 15実に、律法は怒りを招くものであり、律法のないところには違犯もありません。 16従って、信仰によってこそ世界を受け継ぐ者となるのです。恵みによって、アブラハムのすべての子孫、つまり、単に律法に頼る者だけでなく、彼の信仰に従う者も、確実に約束にあずかれるのです。彼はわたしたちすべての父です。 17「わたしはあなたを多くの民の父と定めた」と書いてあるとおりです。死者に命を与え、存在していないものを呼び出して存在させる神を、アブラハムは信じ、その御前でわたしたちの父となったのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 3: 1～17(新167)

1さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。 2ある夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行うことはできないからです。」 3イエスは答えて言われた。「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」 4ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれることができましょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるでしょうか。」 5イエスはお答えになった。「はっきり言っておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。 6肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。 7『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。 8風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」 9するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言った。 10イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。 11はっきり言っておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証ししているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。 12わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。 13天から降って来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者はだれもいない。 14そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。 15それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。

16神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。 17神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

K.V. ヨハネ3:16

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

2023年3月12日　四旬節第３主日　（紫）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主題 : 真の礼拝

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　出エジプト 17: 1～ 7(旧122)

第2朗読　ローマ 5: 1～11（新279）

福 音 書　ヨハネ 4: 5～42(新169)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

讃美歌

320 しあわせなことよ

238 いのちのかて

435 全能の神は

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 95　（詩篇95:1～9）

青式文095＋α

主に向かって喜び歌おう。救いの岩に向かって喜びの叫びをあげよう。

　　み前に進み、感謝をささげ、楽の音に合わせて喜びの叫びをあげよう。

主は大いなる神。

　　すべてを超えて大いなる王。

深い地の底もまたみ手の内にあり、山々の頂きも主のもの。海も主のもの、

　　それを造られたのは主。陸もまた、み手によって形づくられた。

わたしたちを造られた方、主のみ前にひざまずこう。

　　共にひれ伏し、主を拝もう。

主はわたしたちの神、わたしたちは主の民。

　　わたしたちは主に養われる群れ、み手の内にある羊。

今日こそ、主の声に聞き従わなければならない。

　　「あの日、荒れ野のメリバやマサでしたように、心を頑にしてはならない。

あのとき、あなたたちの先祖はわたしを試みた。

　　わたしの業を見ながら、わたしを試した。

四十年の間、わたしはその世代をいとい、

　　心の迷う民と呼んだ。

彼らはわたしの道を知ろうとしなかった。

　　わたしは怒り、彼らをわたしの憩いの地に入れないと誓った。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

憐れみ深い神様。いのちの水の泉であるあなたは、私たちの渇きを癒し、罪を洗い清めてくださいます。私たちにいつもこの水を与えてください。御子から溢れ出る真理の井戸から飲むことができるよう（私たちを）導いてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　出エジプト 17: 1～ 7(旧122)

1主の命令により、イスラエルの人々の共同体全体は、シンの荒れ野を出発し、旅程に従って進み、レフィディムに宿営したが、そこには民の飲み水がなかった。 2民がモーセと争い、「我々に飲み水を与えよ」と言うと、モーセは言った。

「なぜ、わたしと争うのか。なぜ、主を試すのか。」

3しかし、民は喉が渇いてしかたないので、モーセに向かって不平を述べた。

「なぜ、我々をエジプトから導き上ったのか。わたしも子供たちも、家畜までも渇きで殺すためなのか。」

4モーセは主に、「わたしはこの民をどうすればよいのですか。彼らは今にも、わたしを石で打ち殺そうとしています」と叫ぶと、 5主はモーセに言われた。

「イスラエルの長老数名を伴い、民の前を進め。また、ナイル川を打った杖を持って行くがよい。 6見よ、わたしはホレブの岩の上であなたの前に立つ。あなたはその岩を打て。そこから水が出て、民は飲むことができる。」

モーセは、イスラエルの長老たちの目の前でそのとおりにした。 7彼は、その場所をマサ（試し）とメリバ（争い）と名付けた。イスラエルの人々が、「果たして、主は我々の間におられるのかどうか」と言って、モーセと争い、主を試したからである。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　ローマ 5: 1～11（新279）

1このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、 2このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。 3そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、 4忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。 5希望はわたしたちを欺くことがありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。 6実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださった。 7正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。善い人のために命を惜しまない者ならいるかもしれません。 8しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。 9それで今や、わたしたちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。 10敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。 11それだけでなく、わたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちは神を誇りとしています。今やこのキリストを通して和解させていただいたからです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 4: 5～42(新169)

5それで、ヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにある、シカルというサマリアの町に来られた。 6そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅に疲れて、そのまま井戸のそばに座っておられた。正午ごろのことである。

7サマリアの女が水をくみに来た。イエスは、「水を飲ませてください」と言われた。 8弟子たちは食べ物を買うために町に行っていた。 9すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女のわたしに、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際しないからである。 10イエスは答えて言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、また、『水を飲ませてください』と言ったのがだれであるか知っていたならば、あなたの方からその人に頼み、その人はあなたに生きた水を与えたことであろう。」 11女は言った。「主よ、あなたはくむ物をお持ちでないし、井戸は深いのです。どこからその生きた水を手にお入れになるのですか。 12あなたは、わたしたちの父ヤコブよりも偉いのですか。ヤコブがこの井戸をわたしたちに与え、彼自身も、その子供や家畜も、この井戸から水を飲んだのです。」 13イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでもまた渇く。 14しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」 15女は言った。「主よ、渇くことがないように、また、ここにくみに来なくてもいいように、その水をください。」

16イエスが、「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい」と言われると、 17女は答えて、「わたしには夫はいません」と言った。イエスは言われた。「『夫はいません』とは、まさにそのとおりだ。 18あなたには五人の夫がいたが、今連れ添っているのは夫ではない。あなたは、ありのままを言ったわけだ。」 19女は言った。「主よ、あなたは預言者だとお見受けします。 20わたしどもの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」 21イエスは言われた。「婦人よ、わたしを信じなさい。あなたがたが、この山でもエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が来る。 22あなたがたは知らないものを礼拝しているが、わたしたちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から来るからだ。 23しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。 24神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。」 25女が言った。「わたしは、キリストと呼ばれるメシアが来られることは知っています。その方が来られるとき、わたしたちに一切のことを知らせてくださいます。」 26イエスは言われた。「それは、あなたと話をしているこのわたしである。」

27ちょうどそのとき、弟子たちが帰って来て、イエスが女の人と話をしておられるのに驚いた。しかし、「何か御用ですか」とか、「何をこの人と話しておられるのですか」と言う者はいなかった。 28女は、水がめをそこに置いたまま町に行き、人々に言った。 29「さあ、見に来てください。わたしが行ったことをすべて、言い当てた人がいます。もしかしたら、この方がメシアかもしれません。」 30人々は町を出て、イエスのもとへやって来た。

31その間に、弟子たちが「ラビ、食事をどうぞ」と勧めると、 32イエスは、「わたしにはあなたがたの知らない食べ物がある」と言われた。 33弟子たちは、「だれかが食べ物を持って来たのだろうか」と互いに言った。 34イエスは言われた。「わたしの食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである。 35あなたがたは、『刈り入れまでまだ四か月もある』と言っているではないか。わたしは言っておく。目を上げて畑を見るがよい。色づいて刈り入れを待っている。既に、 36刈り入れる人は報酬を受け、永遠の命に至る実を集めている。こうして、種を蒔く人も刈る人も、共に喜ぶのである。 37そこで、『一人が種を蒔き、別の人が刈り入れる』ということわざのとおりになる。 38あなたがたが自分では労苦しなかったものを刈り入れるために、わたしはあなたがたを遣わした。他の人々が労苦し、あなたがたはその労苦の実りにあずかっている。」

39さて、その町の多くのサマリア人は、「この方が、わたしの行ったことをすべて言い当てました」と証言した女の言葉によって、イエスを信じた。 40そこで、このサマリア人たちはイエスのもとにやって来て、自分たちのところにとどまるようにと頼んだ。イエスは、二日間そこに滞在された。 41そして、更に多くの人々が、イエスの言葉を聞いて信じた。 42彼らは女に言った。「わたしたちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。わたしたちは自分で聞いて、この方が本当に世の救い主であると分かったからです。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

K.V. ヨハネ4:23

しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。

2023年3月19日　四旬節第４主日　（紫/薔薇色）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主題 : 目を開くキリスト

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　サムエル上 16: 1～13（旧453）

第2朗読　エフェソ 5: 8～14（新357）

福 音 書　ヨハネ 9: 1～41(新184)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

讃美歌

076 恵みの主イエスよ

292 重荷をにないて

362 主よ今我らの

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 23　（詩篇23:1～6）

青式文23

主はわたしの羊飼い、

　　わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを緑の野に休ませ、

　　憩いの水のほとりに伴い、わたしの魂を生き返らせてくださる。

主はみ名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。

　　死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

　　あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても、

　　あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ、

　　わたしの杯を溢れさせてくださる。

命ある限り、恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

　　主の家にわたしは帰り、いつまでも、そこにとどまる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

主イエス・キリスト。私たちの祈りに耳を傾け、来てください（おいでください）。私たちのため、恵み深い生と死によって、心の闇に光をもたらし、聖霊の油を注いでください。父と聖霊とともに、あなたは永遠に唯一の主です。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　サムエル上 16: 1～13（旧453）

1主はサムエルに言われた。「いつまであなたは、サウルのことを嘆くのか。わたしは、イスラエルを治める王位から彼を退けた。角に油を満たして出かけなさい。あなたをベツレヘムのエッサイのもとに遣わそう。わたしはその息子たちの中に、王となるべき者を見いだした。」 2サムエルは言った。「どうしてわたしが行けましょうか。サウルが聞けばわたしを殺すでしょう。」主は言われた。「若い雌牛を引いて行き、『主にいけにえをささげるために来ました』と言い、 3いけにえをささげるときになったら、エッサイを招きなさい。なすべきことは、そのときわたしが告げる。あなたは、わたしがそれと告げる者に油を注ぎなさい。」 4サムエルは主が命じられたとおりにした。彼がベツレヘムに着くと、町の長老は不安げに出迎えて、尋ねた。「おいでくださったのは、平和なことのためでしょうか。」 5「平和なことです。主にいけにえをささげに来ました。身を清めて、いけにえの会食に一緒に来てください。」

サムエルはエッサイとその息子たちに身を清めさせ、いけにえの会食に彼らを招いた。 6彼らがやって来ると、サムエルはエリアブに目を留め、彼こそ主の前に油を注がれる者だ、と思った。 7しかし、主はサムエルに言われた。「容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」 8エッサイはアビナダブを呼び、サムエルの前を通らせた。サムエルは言った。「この者をも主はお選びにならない。」 9エッサイは次に、シャンマを通らせた。サムエルは言った。「この者をも主はお選びにならない。」 10エッサイは七人の息子にサムエルの前を通らせたが、サムエルは彼に言った。「主はこれらの者をお選びにならない。」 11サムエルはエッサイに尋ねた。「あなたの息子はこれだけですか。」「末の子が残っていますが、今、羊の番をしています」とエッサイが答えると、サムエルは言った。「人をやって、彼を連れて来させてください。その子がここに来ないうちは、食卓には着きません。」 12エッサイは人をやって、その子を連れて来させた。彼は血色が良く、目は美しく、姿も立派であった。主は言われた。「立って彼に油を注ぎなさい。これがその人だ。」 13サムエルは油の入った角を取り出し、兄弟たちの中で彼に油を注いだ。その日以来、主の霊が激しくダビデに降るようになった。サムエルは立ってラマに帰った。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　エフェソ 5: 8～14（新357）

8あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。 9――光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。―― 10何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。 11実を結ばない暗闇の業に加わらないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。 12彼らがひそかに行っているのは、口にするのも恥ずかしいことなのです。 13しかし、すべてのものは光にさらされて、明らかにされます。 14明らかにされるものはみな、光となるのです。それで、こう言われています。

「眠りについている者、起きよ。

死者の中から立ち上がれ。

そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 9: 1～41(新184)

1さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。 2弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」 3イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。 4わたしたちは、わたしをお遣わしになった方の業を、まだ日のあるうちに行わねばならない。だれも働くことのできない夜が来る。 5わたしは、世にいる間、世の光である。」 6こう言ってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。 7そして、「シロアム――『遣わされた者』という意味――の池に行って洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。 8近所の人々や、彼が物乞いをしていたのを前に見ていた人々が、「これは、座って物乞いをしていた人ではないか」と言った。 9「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言う者もいた。本人は、「わたしがそうなのです」と言った。 10そこで人々が、「では、お前の目はどのようにして開いたのか」と言うと、 11彼は答えた。「イエスという方が、土をこねてわたしの目に塗り、『シロアムに行って洗いなさい』と言われました。そこで、行って洗ったら、見えるようになったのです。」 12人々が「その人はどこにいるのか」と言うと、彼は「知りません」と言った。

13人々は、前に盲人であった人をファリサイ派の人々のところへ連れて行った。 14イエスが土をこねてその目を開けられたのは、安息日のことであった。 15そこで、ファリサイ派の人々も、どうして見えるようになったのかと尋ねた。彼は言った。「あの方が、わたしの目にこねた土を塗りました。そして、わたしが洗うと、見えるようになったのです。」 16ファリサイ派の人々の中には、「その人は、安息日を守らないから、神のもとから来た者ではない」と言う者もいれば、「どうして罪のある人間が、こんなしるしを行うことができるだろうか」と言う者もいた。こうして、彼らの間で意見が分かれた。 17そこで、人々は盲人であった人に再び言った。「目を開けてくれたということだが、いったい、お前はあの人をどう思うのか。」彼は「あの方は預言者です」と言った。

18それでも、ユダヤ人たちはこの人について、盲人であったのに目が見えるようになったということを信じなかった。ついに、目が見えるようになった人の両親を呼び出して、 19尋ねた。「この者はあなたたちの息子で、生まれつき目が見えなかったと言うのか。それが、どうして今は目が見えるのか。」 20両親は答えて言った。「これがわたしどもの息子で、生まれつき目が見えなかったことは知っています。 21しかし、どうして今、目が見えるようになったかは、分かりません。だれが目を開けてくれたのかも、わたしどもは分かりません。本人にお聞きください。もう大人ですから、自分のことは自分で話すでしょう。」 22両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちを恐れていたからである。ユダヤ人たちは既に、イエスをメシアであると公に言い表す者がいれば、会堂から追放すると決めていたのである。 23両親が、「もう大人ですから、本人にお聞きください」と言ったのは、そのためである。

24さて、ユダヤ人たちは、盲人であった人をもう一度呼び出して言った。「神の前で正直に答えなさい。わたしたちは、あの者が罪ある人間だと知っているのだ。」 25彼は答えた。「あの方が罪人かどうか、わたしには分かりません。ただ一つ知っているのは、目の見えなかったわたしが、今は見えるということです。」 26すると、彼らは言った。「あの者はお前にどんなことをしたのか。お前の目をどうやって開けたのか。」 27彼は答えた。「もうお話ししたのに、聞いてくださいませんでした。なぜまた、聞こうとなさるのですか。あなたがたもあの方の弟子になりたいのですか。」 28そこで、彼らはののしって言った。「お前はあの者の弟子だが、我々はモーセの弟子だ。 29我々は、神がモーセに語られたことは知っているが、あの者がどこから来たのかは知らない。」 30彼は答えて言った。「あの方がどこから来られたか、あなたがたがご存じないとは、実に不思議です。あの方は、わたしの目を開けてくださったのに。 31神は罪人の言うことはお聞きにならないと、わたしたちは承知しています。しかし、神をあがめ、その御心を行う人の言うことは、お聞きになります。 32生まれつき目が見えなかった者の目を開けた人がいるということなど、これまで一度も聞いたことがありません。 33あの方が神のもとから来られたのでなければ、何もおできにならなかったはずです。」 34彼らは、「お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか」と言い返し、彼を外に追い出した。

35イエスは彼が外に追い出されたことをお聞きになった。そして彼に出会うと、「あなたは人の子を信じるか」と言われた。 36彼は答えて言った。「主よ、その方はどんな人ですか。その方を信じたいのですが。」 37イエスは言われた。「あなたは、もうその人を見ている。あなたと話しているのが、その人だ。」 38彼が、「主よ、信じます」と言って、ひざまずくと、 39イエスは言われた。「わたしがこの世に来たのは、裁くためである。こうして、見えない者は見えるようになり、見える者は見えないようになる。」

40イエスと一緒に居合わせたファリサイ派の人々は、これらのことを聞いて、「我々も見えないということか」と言った。 41イエスは言われた。「見えなかったのであれば、罪はなかったであろう。しかし、今、『見える』とあなたたちは言っている。だから、あなたたちの罪は残る。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

K.V. ヨハネ9:39

 39イエスは言われた。「わたしがこの世に来たのは、裁くためである。こうして、見えない者は見えるようになり、見える者は見えないようになる。」

2023年3月26日　四旬節第５主日　（紫）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主題 : 復活と命であるキリスト

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　エゼキエル 37: 1～14(旧1357)

第2朗読　ローマ 8: 6～11(新284)

福 音 書　ヨハネ 11: 1～45(新188)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

讃美歌

167 いざや声あげて

065 宮のなかの

302 ああ罪のくさりに

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 130　青式文130/1＋130/2　（詩篇130:1～8）

深い淵から、主よ、あなたに叫びます。主よ、この声を聞き取ってください。

　　嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら、

　　主よ、誰が耐ええましょう。

しかし、主よ、赦しはあなたのもとにあり、

　　人はあなたを畏れ敬うのです。

わたしは主に望みをおき、

　　わたしの魂は望みをおき、み言葉を待ち望みます。

わたしの魂は主を待ち望みます。

　　見張りが朝を待つにもまして、朝を待つにもまして。

イスラエルよ、主を待ち望め。慈しみは主のもとに、豊かな贖いも主のもとに。

　　主は、イスラエルをすべての罪から贖ってくださる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

全能の神様。御子はすべての人々を罪と死から解放するため世に来られました。聖霊の力を吹き込み、キリストにある新しい命に生かし、生涯、義をもって仕えることができますように。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　エゼキエル 37: 1～14(旧1357)

1主の手がわたしの上に臨んだ。わたしは主の霊によって連れ出され、ある谷の真ん中に降ろされた。そこは骨でいっぱいであった。 2主はわたしに、その周囲を行き巡らせた。見ると、谷の上には非常に多くの骨があり、また見ると、それらは甚だしく枯れていた。 3そのとき、主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨は生き返ることができるか。」わたしは答えた。「主なる神よ、あなたのみがご存じです。」 4そこで、主はわたしに言われた。「これらの骨に向かって預言し、彼らに言いなさい。枯れた骨よ、主の言葉を聞け。 5これらの骨に向かって、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。 6わたしは、お前たちの上に筋をおき、肉を付け、皮膚で覆い、霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。そして、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。」

7わたしは命じられたように預言した。わたしが預言していると、音がした。見よ、カタカタと音を立てて、骨と骨とが近づいた。 8わたしが見ていると、見よ、それらの骨の上に筋と肉が生じ、皮膚がその上をすっかり覆った。しかし、その中に霊はなかった。 9主はわたしに言われた。「霊に預言せよ。人の子よ、預言して霊に言いなさい。主なる神はこう言われる。霊よ、四方から吹き来れ。霊よ、これらの殺されたものの上に吹きつけよ。そうすれば彼らは生き返る。」

10わたしは命じられたように預言した。すると、霊が彼らの中に入り、彼らは生き返って自分の足で立った。彼らは非常に大きな集団となった。

11主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家である。彼らは言っている。『我々の骨は枯れた。我々の望みはうせ、我々は滅びる』と。 12それゆえ、預言して彼らに語りなさい。主なる神はこう言われる。わたしはお前たちの墓を開く。わが民よ、わたしはお前たちを墓から引き上げ、イスラエルの地へ連れて行く。 13わたしが墓を開いて、お前たちを墓から引き上げるとき、わが民よ、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。 14また、わたしがお前たちの中に霊を吹き込むと、お前たちは生きる。わたしはお前たちを自分の土地に住まわせる。そのとき、お前たちは主であるわたしがこれを語り、行ったことを知るようになる」と主は言われる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　ローマ 8: 6～11(新284)

6肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和であります。 7なぜなら、肉の思いに従う者は、神に敵対しており、神の律法に従っていないからです。従いえないのです。 8肉の支配下にある者は、神に喜ばれるはずがありません。 9神の霊があなたがたの内に宿っているかぎり、あなたがたは、肉ではなく霊の支配下にいます。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。 10キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、“霊”は義によって命となっています。 11もし、イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬはずの体をも生かしてくださるでしょう。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 11: 1～45(新188)

1ある病人がいた。マリアとその姉妹マルタの村、ベタニアの出身で、ラザロといった。 2このマリアは主に香油を塗り、髪の毛で主の足をぬぐった女である。その兄弟ラザロが病気であった。 3姉妹たちはイエスのもとに人をやって、「主よ、あなたの愛しておられる者が病気なのです」と言わせた。 4イエスは、それを聞いて言われた。「この病気は死で終わるものではない。神の栄光のためである。神の子がそれによって栄光を受けるのである。」 5イエスは、マルタとその姉妹とラザロを愛しておられた。 6ラザロが病気だと聞いてからも、なお二日間同じ所に滞在された。 7それから、弟子たちに言われた。「もう一度、ユダヤに行こう。」 8弟子たちは言った。「ラビ、ユダヤ人たちがついこの間もあなたを石で打ち殺そうとしたのに、またそこへ行かれるのですか。」 9イエスはお答えになった。「昼間は十二時間あるではないか。昼のうちに歩けば、つまずくことはない。この世の光を見ているからだ。 10しかし、夜歩けば、つまずく。その人の内に光がないからである。」 11こうお話しになり、また、その後で言われた。「わたしたちの友ラザロが眠っている。しかし、わたしは彼を起こしに行く。」 12弟子たちは、「主よ、眠っているのであれば、助かるでしょう」と言った。 13イエスはラザロの死について話されたのだが、弟子たちは、ただ眠りについて話されたものと思ったのである。 14そこでイエスは、はっきりと言われた。「ラザロは死んだのだ。 15わたしがその場に居合わせなかったのは、あなたがたにとってよかった。あなたがたが信じるようになるためである。さあ、彼のところへ行こう。」 16すると、ディディモと呼ばれるトマスが、仲間の弟子たちに、「わたしたちも行って、一緒に死のうではないか」と言った。

17さて、イエスが行って御覧になると、ラザロは墓に葬られて既に四日もたっていた。 18ベタニアはエルサレムに近く、十五スタディオンほどのところにあった。 19マルタとマリアのところには、多くのユダヤ人が、兄弟ラザロのことで慰めに来ていた。 20マルタは、イエスが来られたと聞いて、迎えに行ったが、マリアは家の中に座っていた。 21マルタはイエスに言った。「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかったでしょうに。 22しかし、あなたが神にお願いになることは何でも神はかなえてくださると、わたしは今でも承知しています。」 23イエスが、「あなたの兄弟は復活する」と言われると、 24マルタは、「終わりの日の復活の時に復活することは存じております」と言った。 25イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。 26生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」 27マルタは言った。「はい、主よ、あなたが世に来られるはずの神の子、メシアであるとわたしは信じております。」

28マルタは、こう言ってから、家に帰って姉妹のマリアを呼び、「先生がいらして、あなたをお呼びです」と耳打ちした。 29マリアはこれを聞くと、すぐに立ち上がり、イエスのもとに行った。 30イエスはまだ村には入らず、マルタが出迎えた場所におられた。 31家の中でマリアと一緒にいて、慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がって出て行くのを見て、墓に泣きに行くのだろうと思い、後を追った。 32マリアはイエスのおられる所に来て、イエスを見るなり足もとにひれ伏し、「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかったでしょうに」と言った。 33イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、心に憤りを覚え、興奮して、 34言われた。「どこに葬ったのか。」彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。 35イエスは涙を流された。 36ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。 37しかし、中には、「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようにはできなかったのか」と言う者もいた。

38イエスは、再び心に憤りを覚えて、墓に来られた。墓は洞穴で、石でふさがれていた。 39イエスが、「その石を取りのけなさい」と言われると、死んだラザロの姉妹マルタが、「主よ、四日もたっていますから、もうにおいます」と言った。 40イエスは、「もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか」と言われた。 41人々が石を取りのけると、イエスは天を仰いで言われた。「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。 42わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたがわたしをお遣わしになったことを、彼らに信じさせるためです。」 43こう言ってから、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれた。 44すると、死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出て来た。顔は覆いで包まれていた。イエスは人々に、「ほどいてやって、行かせなさい」と言われた。

45マリアのところに来て、イエスのなさったことを目撃したユダヤ人の多くは、イエスを信じた。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

K.V. ヨハネ11:25

イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。

2023年3月19日　父ヨセフ（白）

　サムエル下 7:4&8-16・ローマ 4:13-18・マタイ 1:16&18-21&24a

賛美唱　詩編８９編２～３０（日課表誤り）　青式文0897＋α

主の慈しみをとこしえにわたしは歌います。

　　わたしの口は代々に、あなたのまことを告げ知らせます。

わたしは申します。「天にはとこしえに慈しみが備えられ、

　　あなたのまことが立てられますように。」

あなたは言われます。「わたしが選んだ者とわたしは契約を結び、わたしの僕ダビデに誓った。

　　あなたの子孫をとこしえに立て、あなたの王座を代々に備える。」

主よ、天があなたの驚くべき力を告白し、

　　聖なるものがその集会で、あなたのまことを告白しますように。

雲の上で、誰が主に並びえましょう

　　神々の子らの中で誰が主に比べられましょう。

聖なるものの集いにおいて、あなたは恐れられる神。

　　御もとにあるものすべてに超えて、大いに畏れ敬われる方です。

万軍の神、主よ。誰があなたのような威力を持つでしょう。

　　主よ、あなたの真実は、あなたを取り囲んでいます。

あなたは誇り高い海を支配し

　　波が高く起これば、それを静められます。

あなたはラハブを砕き、刺し殺し

　　御腕の力を振るって敵を散らされました。

天はあなたのもの、地もあなたのもの。御自ら世界とそこに満ちるものの基を置き、北と南を創造されました。

　　タボル山、ヘルモン山は御名を喜び歌います。

あなたは力強い業を成し遂げる腕を具え、

　　御手の力を振るい、右の御手を高く上げられます。

正しい裁きは御座の基

　　慈しみとまことは御前に進みます。

いかに幸いなことでしょう。勝利の叫びを知る民は。

　　主よ、御顔の光の中を彼らは歩きます。

絶えず、御名によって喜び躍り

　　恵みの御業にあずかって奮い立ちます。

あなたは彼らの力の輝きです。

　　御旨によって、我らの角を高く上げてください。

主は我らの盾、イスラエルの聖なる方は我らの王。

　　あなたの慈しみに生きる人々に、かつて、あなたは幻によってお告げになりました。

「わたしは一人の勇士に助けを約束する。わたしは彼を民の中から選んで高く上げた。

　　わたしはわたしの僕ダビデを見いだし、彼に聖なる油を注いだ。

わたしの手は彼を固く支え、わたしの腕は彼に勇気を与えるであろう。

　　敵は彼を欺きえず、不正な者が彼を低くすることはない。

わたしは彼の前で彼を苦しめる者を滅ぼし、彼を憎む者を倒す。

　　わたしの真実と慈しみは彼と共にあり、わたしの名によって彼の角は高く上がる。

わたしは彼の手を海にまで届かせ、彼の右の手を大河にまで届かせる。

　　彼はわたしに呼びかけるであろう。あなたはわたしの父、わたしの神、救いの岩、と。

わたしは彼を長子とし、地の諸王の中で最も高い位に就ける。

　　とこしえの慈しみを彼に約束し、わたしの契約を彼に対して確かに守る。

わたしは彼の子孫を永遠に支え

　　彼の王座を天の続く限り支える。

祈り

　神様。あなたは僕ダビデの家族からヨセフを起こし、肉をまとった御子とその母の守り手となさいました。ヨセフの素直さとあなたへの従順に私たちも倣って生きることができるようにしてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン

2023年3月25日　主の誕生告知（白・青）

　イザヤ 7:10-14・ヘブライ 10:4-10・ルカ 1:26-38

賛美唱　詩編４５　青式文045＋α or 詩編４０編６－１１ 青式文040改

詩編４５　青式文045＋α

心に湧き出る美しい言葉、わたしの作る詩を王の前で歌おう。

　　わたしの舌を速やかに物書く人の筆として。

あなたは人の子らのだれよりも美しく、あなたの唇は優雅に語る。

　　あなたはとこしえに神の祝福を受ける方。

勇士よ、腰に剣を帯びよ。

　　それはあなたの栄えと輝き。

輝きを帯びて進め、真実と謙虚と正義を駆って。

　　右の手があなたに恐るべき力をもたらすように。

あなたの矢は鋭く、王の敵のただ中に飛び、

　　諸国の民はあなたの足もとに倒れる。

神よ、あなたの王座は世々限りなく、

　　あなたの王権の杖は公平の杖。

神に従うことを愛し、逆らうことを憎むあなたに、

　　神、あなたの神は油を注がれた、喜びの油をあなたに結ばれた人々の前で。

あなたの衣はすべてミルラ、アロエ、シナモンの香りを放ち、

　　象牙の宮殿に響く弦の調べはあなたを祝う。

諸国の王女、あなたがめでる女たちの中から

　　オフィルの金で身を飾った王妃が、あなたの右に立てられる。

「娘よ、聞け。耳を傾けて聞き、そしてよく見よ。

　　あなたの民とあなたの父の家を忘れよ。

王はあなたの美しさを慕う。

　　王はあなたの主。彼の前にひれ伏すがよい。

ティルスの娘よ、民の豪族は贈り物を携え／

　　あなたが顔を向けるのを待っている。」

王妃は栄光に輝き、進み入る。

　　晴れ着は金糸の織り、色糸の縫い取り。

彼女は王のもとに導かれて行く

　　おとめらを伴い、多くの侍女を従えて。

彼女らは喜び躍りながら導かれて行き

　　王の宮殿に進み入る。

あなたには父祖を継ぐ子らが生まれ

　　あなたは彼らを立ててこの地の君とする。

わたしはあなたの名を代々に語り伝えよう。

　　諸国の民は世々限りなくあなたに感謝をささげるであろう。

詩編４０編６－１１ 青式文040改

わたしの神、主よ、あなたは多くの不思議な業を成し遂げられます。あなたに並ぶものはありません。

　　わたしたちに対する数知れない御計らいをわたしは語り伝えて行きます。

あなたはいけにえも、穀物の供え物も望まず、焼き尽くす供え物も罪の代償の供え物も求めず

　　ただ、わたしの耳を開いてくださいました。

そこでわたしは申します。御覧ください、わたしは来ております。

　　わたしのことは巻物に記されております。

わたしの神よ、御旨を行うことをわたしは望み、あなたの教えを胸に刻み

　　大いなる集会で正しく良い知らせを伝え、決して唇を閉じません。あなたはそれをご存じです。

恵みのみ業を心に秘めておくことなく

　　大いなる集会であなたの真実と救いを語り、慈しみとまことを隠さずに語りました。

主よ、あなたの憐れみの心を閉ざすことなく

　　慈しみとまことによって、いつもわたしをお守りください。

祈り

　神様・私たちは天使によって御子イエス・キリストの受肉を告げ知らされました。御子の十字架と受難を通して、私たちが御子の復活の栄光へと向かえるようにあなたの恵みを注いでください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン